

今月の特集

1

The SLE

かつては難病のイメージが強かった全身性エリテマトーデス(SLE)ですが、近年、そのイメージは払拭されつつあります。今回、あらためて、この病気をオーバービューしてみました。臨床像の変遷、成因(特に遺伝素因)の考え方、重要な検査とその方法について知識をアップデートしてください。

本症は臨床像も多様ですが、検査成績も実に多様なため、検査医学を学習するうえで教育的な課題を与えてくれます。例えば、なぜ補体価が低下するのかを追究していくと、補体の活性化機構というものがわかります。本特集は、そのような視点でも読み込んでいただければ幸いです。

(山田 俊幸)